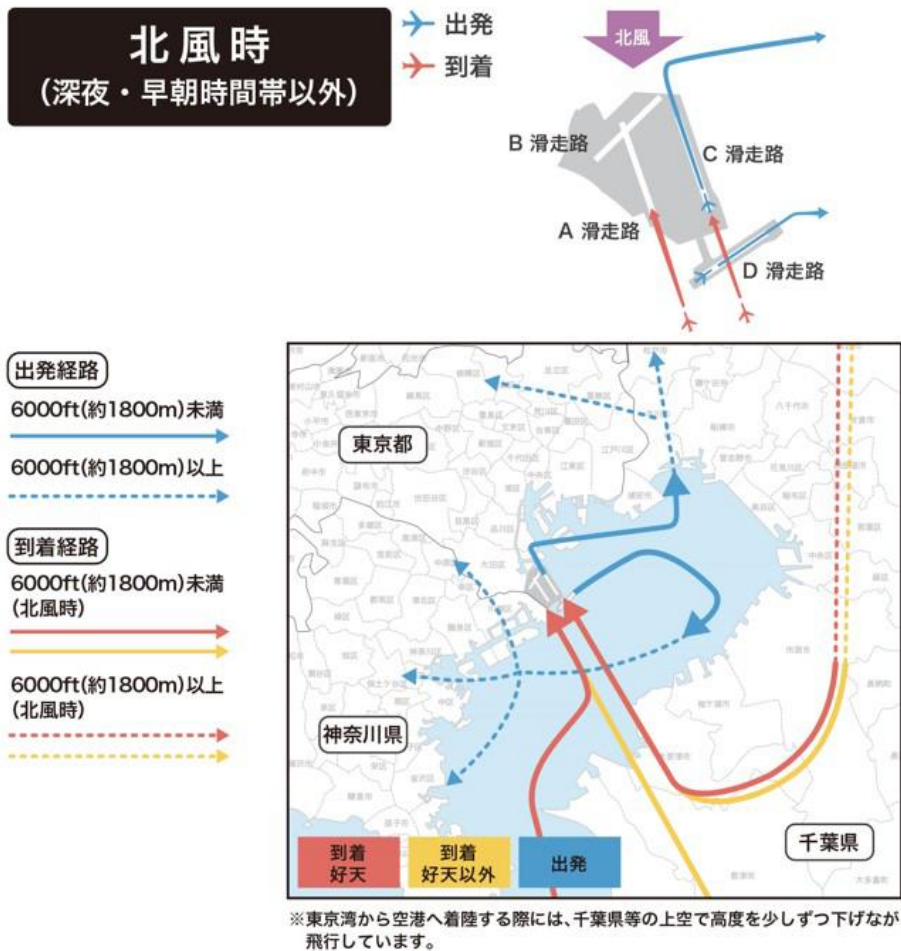


A) 羽田空港の現在の使われ方

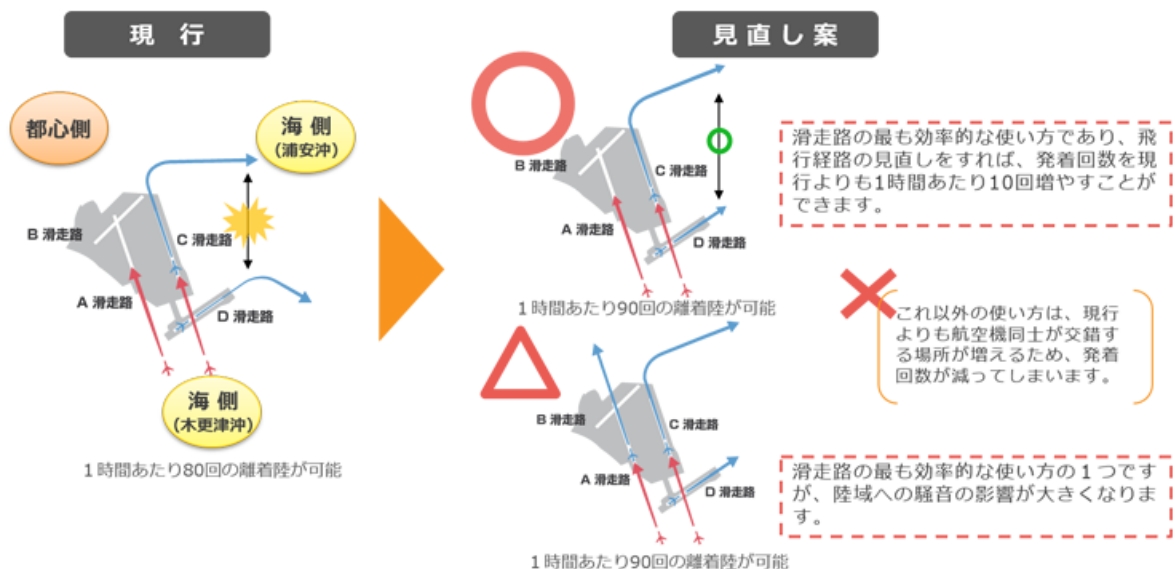
出典国土交通省「羽田空港のこれから」のHPより



B) 北風時の滑降路の使い方の見直し

出典 国土交通省「羽田空港のこれから」のHPより

北風時については、海側(木更津沖)から到着、海側(浦安沖)へ出発する現在の滑走路の使い方が最も効率的であり、見直しを行う必要がありません。ただし、東京湾上空の混雑により出発機の便数が制限されているため、飛行経路を見直す必要があります。



資料 2 空に関する市民の安全・安心の確保

C) 新しい飛行経路

冬場に多くみられる北風時について、国際基準に従って飛行経路の見直しを行うと、1時間当たりの発着回数は現行の80回から90回まで増やせる試算となります。



D) 羽田空港の飛行経路見直しについて〈北風時〉

